

札幌市における国際会議等 誘致の取組と現況について



2026年7月22日
札幌市

目次

1. コンベンション開催地としての札幌市の特徴・ 1
(学術分野／重点産業分野／ GX・AI・金融分野)
2. 国際会議の開催状況 3
(JNTO・ICCA基準／主な政府系国際会議)
3. 2025年度開催の国際会議における取組・・ 5
4. 新たな MICE施設の整備・・ 6
(札幌産業展示場／新 MICE施設)

コンベンション開催地としての札幌市の特徴①

(学術分野／重点産業分野)

1

■札幌市に強みのある学術分野

地球惑星科学

地球科学に関する論文被引用数
国内 2位 (2010-2019合計)

小惑星「イトカワ」のサンプル分析
など世界トップクラスの研究を展開
●2023年8月 第35回国際電波科学
学連合総会(URSI GASS)

感染症学

北海道大学人獣共通感染症
国際共同研究所

新型コロナウイルスをはじめとした
人獣共通感染症に特化した世界初
の研究機関であり、2011年に
WHO協力センターに指定

低温科学

北海道大学低温科学研究所

70年以上にわたる寒冷圏及び低
温条件化における科学的現象の研究
●2022年8月 第29回低温物理学
国際会議(LT-29)

獣医学・酪農学

動物・植物学論文被引用数
国内 3位 (2010-2019合計)

都市の中心部に58haの北海道大
学札幌農場が広がり、獣医学・酪
農学研究が盛ん
●2018年8月 第30回世界牛病学
会(WBC)

※JNTO「Japan: Competitiveness in Academia and Industry – Introduction of Excellent Cities」

■札幌市の重点産業分野

重点分野

観光

食

IT

クリエイ
ティブ

健康福祉・
医療

新たに誘致を強化する分野

GX

AI

金融

※「北海道・札幌 GX/AI金融・資産運用特区」におけるGX事業

次世代半導体 / SAF / 水素 / 洋上風力関連産業 / 蓄電池 / 電気及び水素運搬船 / 海底直流送電網 / データセンター / 再生可能エネルギー(太陽光、風力、中小水力、バイオマス、地熱等)

コンベンション開催地としての札幌市の特徴②

(GX・AI・金融分野)

2

■我が国をリードする北海道の「GXとAIのポテンシャル」

目指す姿の実現に向けた取組（再エネ供給からAI利活用までのエコシステムの構築）

■ GXの取組

再エネの供給

脱炭素電源
(再エネ)



道内での再エネの利活用

AIデータセンター



出典: ソフトバンク

半導体関連産業の集積



出典: Rapidus

GX推進に向けた具体的な取組例

- ・発電施設誘致
(特に洋上風力)
- ・サプライチェーン
構築支援

- ◆AIデータセンター
 - ・誘致セミナー
 - ・海外でのプロモーション
- ◆半導体関連産業
 - ・参入促進セミナー
 - ・展示会出展

■ AIの取組

道内でのAIの利活用

北海道の多様な実証フィールドを
徹底活用した AIの研究開発の推進
(スタートアップ等の集積)



写真提供: (株)クボタ
自動走行トラクター



出典: FARMNOTE
健康状態の自動管理

AI利活用の実証フィールドの活用イメージ

企業シーズ
の把握

地域課題
の把握

マ
ッ
チ
ン
グ

北海道のフィールドを
活用した
実証試験の拡大

AIによる課題解決

地域課題を
解決する
ユースケース
を創出

道内外での
AIの利活用
+
地域課題の
解決と全国
への展開

金融機能の強化・集積
札幌市域での

国際会議の開催状況①

(国際会議開催統計)

【国際会議開催件数】

	2018年	2019年	2022年	2023年	2024年	
ICCA基準	20件	25件	15件	<u>17件</u>	<u>24件</u>	<u>国内4位</u>
JNTO基準	109件	102件	23件	<u>43件</u>	<u>47件</u>	<u>国内10位</u>

【ICCAランキング(2025年)】

都市名	件数	国内順位	アジア・パシフィック	世界順位
東京(23区)	119件	1位	3位	10位
京都市	53件	2位	10位	46位
大阪市	35件	3位	19位	80位
札幌市	24件	4位	23位	112位
横浜市／福岡市	23件	5位	25位	116位

	ICCA(国際会議協会)基準	JNTO基準
主催者	国際機関・国際団体(各国支部を含む)または国家機関・国内団体(各定義が明確ではないため、民間企業以外は全て)	
参加者総数	50名以上	
参加国	<u>3か国以上で会議のローテーション</u> がある (2か国間会議は除外)	<u>日本を含む3か国以上</u>
開催期間	<u>定期的に開催</u> (1回だけ開催されたものは除外)	開催期間: 1日以上

国際会議の開催状況②

(主な国際会議の開催実績)

4

開催年月	会議名	参加者数 (うち海外)
政府系国際会議		
2010年6月	2010年 日本APEC貿易担当大臣会合及び関連会合	2,500人 (2,200人)
2013年11月	第13回 日中韓特許庁長官会合	225人 (25人)
2013年11月	第4回 日インドネシア交通次官級会合	70人 (40人)
2015年9月	第7回 日ASEAN諸国防衛担当局次官級会合	50人 (47人)
2018年1月	第3回 日ASEAN航空協定交渉会合	34人 (25人)
2023年4月	G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合	約650人 (約270人)
2023年7月	第21回 日ASEAN次官級交通政策会合	54人 (36人)
政府系以外の国際会議		
2022年8月	第29回 低温物理学国際会議 ※日本学術会議共同主催	1,145人 (75人)
2023年8月	第35回 国際電波科学連合総会 ※日本学術会議共同主催	1,369人 (700人)
2024年7月	第9回 全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議 ※日本学術会議共同主催	1,283人 (534人)
2024年9月	Global Offshore Wind Summit-Japan 2024	約850人 (約110人)
2025年10月	東洋東南アジアライオンズフォーラム	約10,500人 (3,600人)
2026年10月(予定)	環太平洋インタープリバント2026	500人

▼ 2010 日本APEC貿易担当大臣会合



▼ 2023 G7札幌 環境大臣会合



2025年度に開催された国際会議における取組

5

■東洋東南アジアライオンズ (OSEAL)フォーラム

- ・会期:2025年10月23日～26日
- ・東洋・東南アジア地域のライオンズクラブ国際協会の会員による国際会議。札幌市での開催は41年ぶり
- ・国内外から約1万人が参加し、市内で開催された国際会議としては過去最大規模。



大和ハウスプレミストドームを全面使用した開会式

OSEALフォーラムにおける取組

■札幌文化の発信

札幌の初夏を彩る一大イベントのYOSAKOIソーラン祭出場チームによる演舞や、北海道発祥の市内高校吹奏楽部による演奏とダンスを組み合わせた「ダンプレ」を披露し、国内外の参加者に文化の魅力を発信。



■市民ボランティアのおもてなし

地元高校生が25カ国・地域の参加者を先導したほか、外国語ボランティアが大会運営をサポート。



新たなMICE施設の整備①

(札幌産業展示場)

6



■施設概要

- ・展示ホール(天井高10m) 約15,000㎡
1,500~2,500㎡の7つに分割可能
- ・各展示ホールに付随する主催者用事務室(7室)、
スタッフ用控室(7室)
- ・会議室(10室)
- ・地下鉄「福住」駅より徒歩11分

2027年9月供用開始予定

環境配慮を重視した展示場

- ・「環境首都・札幌」にふさわしい環境配慮型の
サステナブルな展示場として市有施設で初めて
「Nearly ZEB」(75%以上の省エネ率)を取得
- ・屋上や外壁へ太陽光パネルを設置するほか、自然
採光、自然通風、躯体蓄熱、地熱利用など再生
可能エネルギーを積極的に活用



新たなMICE施設の整備②

(新MICE施設)

7



メインホール	約2,000㎡
多目的ホール(展示場)	約3,200㎡
会議室(15室)	約3,400㎡
ホール・会議室合計	約8,600㎡
施設総面積	約38,400㎡



- 地下鉄直結で空港から
屋外移動不要！
- すすきの徒歩圏内！
- 隣接ホテルをはじめ
宿泊機能が充実！

2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	2032 年度	2033 年度
基本計画・事業手法の検討		施設要求水準の決定 ・事業者の選定		施設の設計・建設工事				2033年度 開業予定